



ALS

2025年1月8日

国立大学法人東京藝術大学
秋田ステーションビル株式会社

東京藝大 × 秋田ステーションビル株式会社 共同開催
秋田駅ビル アルス地下1階「あきた まちのえき」がいよいよ今月オープン！
多様な参加者が勢揃い

東京藝術大学と東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 東日本」）は、包括連携協定に基づき、「アート」を軸とした新しいサービス・価値の提供を目指し、ともに取り組んでいます。本企画では、東京藝術大学が培ってきた多様な芸術の在り方を、JR 東日本グループのネットワークを活用して地方へと届け、芸術の力で新たな活力をもたらす地方創生を目指します。

会期中は、秋田駅直結の秋田駅ビル アルス地下1階の「あきた まちのえき」にて、秋田の豊かな文化資源と現代芸術のもつエネルギーを存分にお楽しみいただけます。また、本企画は JR 東日本の重点販売地域指定を受け秋田県が実施する「秋田県冬の大型観光キャンペーン」に合わせて開催します。ひとりでも多くの方にご来場いただけますよう、広報・報道機関の皆様にはぜひご周知・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



メインイメージ：多様な出店者の集まりと、寒い中でもつい立ち寄りたくなるようなあたたかな場を「こたつ」に重ねました

人々が交わり・集う「あきた まちのえき」が、秋田駅ビル アルス地下1階に期間限定オープン。アーティストや職人、料理人、学生、起業家、観光客などが往来・滞在・交流し、駅ビルの地下フロアに新しいまちを醸す1ヵ月。地元食材を使ったカフェ出店やクリエイターによるオリジナル商品の販売のほか、作品展示やワークショップ、トークイベントなども。もちろん空いたスペースで休憩も可能。毎日変わるまちの様子にご注目ください。

オープニングセレモニーの開催について（報道関係者、出店者対象）

日時|2025年1月17日(金)11:00-11:30

場所|秋田駅ビル アルス地下1階(秋田市中通 7-1-2)

参加|要事前予約

内容|

東京藝術大学学長 日比野克彦からのビデオメッセージ、関係者挨拶、西原珉より企画趣旨説明



最新情報は
公式 Instagram から
@machieki.akita



会場イメージ

「あきた まちのえき」

あつまる・つくる・あったまる

- (1) 日時 | 2025年1月17日(金)～2月16日(日) 11:00～19:00 (火曜定休、休日の場合は翌日)
- (2) 場所 | 秋田駅ビル アルス地下1階 (秋田市中通 7-1-2)
- (3) 入場料 | 無料
- (4) 主催 | 東京藝術大学
- (5) 共催 | 秋田ステーションビル株式会社
- (6) 運営 | trunk、NPO 法人アーツセンターあきた
- (7) 協力 | 東日本旅客鉄道株式会社
- (8) 協賛 | 秋田プライウッド株式会社
- (9) 後援 | 秋田県、秋田市、秋田公立美術大学、秋田魁新報社、ABS 秋田放送、AKT 秋田テレビ、AAB 秋田朝日放送、朝日新聞秋田総局、読売新聞秋田支局、毎日新聞秋田支局、秋田経済新聞、CNA 秋田ケーブルテレビ

企画に寄せて

自然環境から生まれた生活のなかの手しごと、食やお酒といった発酵文化、また季節ごとの祭や行事、秋田には長い年月のなかで培われた実に様々な文化があります。

車で移動するときに道の駅に立ち寄ると、食品、日用品、お土産などとの出会いを通じてそれらを作っている人や地域の文化との思いがけない出会いがあるように、新幹線こまちや列車で秋田駅に降り立ったらまず立ち寄れるような、道の駅ならぬ“町の駅”があったら——

この企画はその思いから生まれました。

この「あきた まちのえき」には秋田に暮らしながらユニークな活動を展開している出展者が集っています。秋田の方にも、秋田を旅する方にも、「あきた まちのえき」が新しい秋田の出会いの場となることを願っています。

西原珉 (東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 准教授 / 秋田市文化創造館 館長)



ブース参加（五十音順）

都合により参加が中止になる場合があります。

また、出店日時は各参加者により異なります。詳しくはお問合せください。

参加者名	カナ	参加内容
あおとはな	アトハ	店舗を持たず、季節や場所、訪れる人々に合わせて姿を変え、まるで物語の一場面のようにふと街角に現れる雑貨店。大人から子供まで楽しめる遊び場スペース、ワークショップ、物販の展開
if(塾)	イフ(ジユク)	AIを活用したメタバース×リアルワールドの未来型プログラミング教室。事業内容展示やプロダクト紹介、教育・事業相談
インドアゲームズ	インドアゲームズ	謎解きゲームの展示、15分で遊べるテーブルトークRPGの体験プレイを展開
おもしろど・かだればあ	オモシロダカレバ	様々な年代・職種のメンバーが運営している市民団体。団体の打ち合わせ、団体紹介展示、イベント実施等を実施
全自動さじなげ委員会	ゼンジドウサジナゲイカイ	秋田県内の廃墟、廃村、廃校のまとめサイトの運営を行う委員会。オリジナルグッズの制作や販売
そらりらす	ソラリラス	占い（アストロダイスやタロットカード）
旅する Minja	タビスルミンジャ	オリジナル寒天、地熱乾燥フルーツ・野菜販売、他飲食店とのコラボレーション
ときめきっず Labo	トキメキッずラボ	遊びは学び！五感を養う知育の体験型幼児教室によるワークショップ等の実施
trunk	トランク	ZINE、trunkグッズ、ヘチマの販売
PARK-いきるとつくるのにわ	パークイキルトツクルニワ	秋田に暮らす人々やクリエイター、専門家が交わり、表現を育むプロジェクトの活動紹介展示、関連イベントの実施
URANAN	ユラナン	ハンドメイドのアクセサリー販売
ルーム菓	ルームス	お部屋をイメージしたサブカルチャースナック喫茶によるドリンク販売、出張占い、グッズ販売
6坪カフェ	ロクツツカフェ	6坪カフェのシェアキッチン利用者による多様な飲食物を販売
わたしの防災勉強会	ワタシノサイベンキョウカイ	秋田市文化創造館を拠点に始まった防災の勉強会。防災に関する展示や、勉強会の紹介等。来場者は防災ゲームで自由に遊ぶことが可能

展示（五十音順）

参加者名	カナ	参加内容
秋田公立美術大学有志	アキタクリツビ ジユツダ イガク ユウシ	学部、大学院等専攻を超えた有志が会場内各所の壁面や隙間を使って展示。随時更新予定。 会期中にワークショップ等も予定。 参加者：曾田萌・藤原櫻和子（ドローイング）、佐藤ことみ（映像）、藤澤秀一朗（油絵）、五社光希（ペインティング）、鎌田ひかる（移動式こたつ）、井上愛萌（パフォーマンス）、長谷部和哉（写真）、小椿こはる（ドローイング）、青山由佳（彫刻）、今野嵩琉（文章）、ブラネン新那サイデ（映像）、小谷真夕（写真）、ふじた光（絵画）、津川沙千（絵画）ほか キュレーション：高升梨帆
かえるラボ／藤浩志	カエルボ /フジ ヒロシ	美術活動におけるツール・システム・空間全般の研究、企画、制作、運営を行う。おもに使われなくなった建造物・施設あるいは素材などを活用し、様々な活動の拠点として開き、予想を超えた活動の連鎖を促すことを目指す
工藤結依	クドウ ユイ	秋田公立美術大学出身、現在東京藝術大学院生の工藤による食べたものを記録した展示「スープと餃子の備忘録」。内容は会期中に随時更新される
十文字和紙愛好会	ジュウモンジ ワ アイカウイ	横手市で江戸時代から続く手漉き和紙「十文字和紙」を伝承するため活動を行う。展示会や作品販売、学校への授業などを通して和紙の魅力を伝えている。今回は和紙を使った作品展示を行う
東京藝術大学	トウキョウゲイ ジユツダ イガク	「旅のお供 秋田編」で、主に秋田の人々によって制作された数々のパペットやぬいぐるみを旅する「お供」として貸し出し
東北物産株式会社	トウホクブツサンカ ブシキガ イシャ	「豊かさ」をまちづくりに届けていくことをミッションに、消防設備業を中心に秋田県内外で事業を行う。また、不動産業・リノベーション業も行い、街づくり全般への貢献や建物のリノベーションに留まらない、「街のリノベーション」という意識を持った取り組みを行なう自社の活動展示
ぷくぷく（puku puku）	プクプク	秋田公立美術大学院修了生の易 前燦（エキゼンイツ）による酒やどぶろく等をテーマにした展示・ワークショップ

その他

参加者名	カナ	参加内容
ryuseitaguchi	リュウセイタグチ	DJ・空間音楽担当。秋田公立美術大学在学中。クリエイティブ・レーベル「Bill's Glasses」ディレクター

▶注目！

①秋田県内の人気の高いカフェや料理人が集合！

・旅する minja

みんなは秋田弁で「台所」の意味。各家庭の台所から始まる物語を軸に、地元食材を活かしたかき氷や飲み物がキッチンカー出店等で人気です。

今回のメインは秋田県の食文化の一つ「寒天」。今回、見た目も舌もダブルで喜ぶ新しい寒天を作ります。何種類もあるので、その場で食べるのもお土産にもオススメ。

さらに、週末には秋田県内で人気のカフェ等が共同で出店し、肉まんや台湾等で人気の葱油餅など寒い日に嬉しいメニューも登場します。

【共同出店者】もすくの台所、包子ウー、あげもの 三星、つむぐ

【営業日時】木曜日～月曜日（木曜不定休）11:00-19:00

【Instagram】https://www.instagram.com/tabisuru_minja/



・6坪カフェ

「やりたいことを、やりたいと思った時に」

飲食店営業・菓子製造業・そうざい製造業3つの許可が取得できる秋田市のシェアキッチン。

小さな6坪から始まる、大きな夢を。やりたいことを後押し、想いを形にする空間です。

【出店者】

PADDLE (パドル)	ベーグル
くるむ	韓国惣菜
ておにぎり	おにぎり
bar noie (バーノイエ)	ノンアルコールドリンク
Anuenue (アーヌエヌエ)	マフィン、パウンドケーキ、 マドレーヌ、その他焼き菓子
peace (ピース)	米粉シフォンケーキ、スノーボール
あんさん	韓国伝統菓子

【営業日時】別途Instagram等でお知らせ

【Instagram】https://www.instagram.com/6_tsubo_cafe/



・ルーム巢

秋田市大町にて、お部屋をイメージしたサブカルチャースナック喫茶を経営。県内で行われるイベントにも参加し、ハーブティーや珈琲、自家製ドリンクなどを提供。お店の運営のかたわら、アクセサリーや美術作品の制作、販売、占いも行っています。

【営業日時】別途Instagram等でお知らせ

【Instagram】https://www.instagram.com/6__rooms__6/



②多様な展示が会場を彩ります

・東京藝術大学「旅のお供 秋田編」

上野駅で展示した人気企画が秋田に巡回。

東京藝術大学学生・卒業生が制作した数々のパペットやぬいぐるみに加え、今回、秋田の市民や学生が制作したものも追加。それらを秋田を旅する「お供」として貸し出します。

「旅のお供」は、個性豊かなお供たちと一緒に歩くことで、作品を直接体験できるアートプロジェクトです。来場者は展示されている「お供」のなかから一つを選び、一緒に散歩したり、電車に乗ったり、「お供」と時間を過ごすことができます。そして、このプロジェクトに多くの方が参加することで、同じ「お供」を携えて歩く人と偶然の出会いや、ゆるやかなつながりが生まれます。本プロジェクトを通じて、「誰かと旅をする」「ともに歩く」「ひとりではない」といった体験を多くの人へ届けます。

キュレーション：西原珉



<「旅のお供」参加方法>

参加をご希望の方は、会場にてスタッフにお声がけください。

「おともクラブ会員」にご登録いただき、「お供」の貸出しをします。参加費無料、当日限り。

・秋田公立美術大学 学生有志

学部、大学院等専攻を超えた有志 15 名が会場内各所の壁面や隙間を使って展示を行います。

③子どもと一緒に楽しめる

・ときめきっず Labo

遊びは学び！五感を養う知育の体験型幼児教室。

迷ったらワクワクする方を選んできた保育士が、4月から由利本荘市で幼児教室をスタート！

ときめきが止まらない子どもの好奇心を刺激する仕掛けを遊びに盛り込んでいます。

金土日祝日にワークショップを実施します。



・あおとはな

店舗を持たず、季節や場所、訪れる人々に合わせて姿を変え、まるで物語の一場面のようにふと街角に現れる雑貨店。「ものを大切にすることは、自分を大切にすること」その日その場所でしか出会えない特別な品々を取り揃えています。

大人から子供まで楽しめる遊び場スペースの展開とワークショップ、そこから派生した物販を実施します。



▶会場プラン（案）



▶管理・運営団体

trunk

2021年から秋田を拠点にすべての人が生きやすい環境を目指して活動するコレクティブ。これまで、自主企画での展覧会やおはなし会、上映会やラジオ配信など、あらゆる方法で場作りを行ってきた。

メンバーはデザイナーや漫画家、美術作家、ファッションやアートマネジメントを学んだ人たちで、それぞれの専門性を生かした活動を行う。

<https://sylvester-shifu.com/>



▶広報

NPO 法人アーツセンターあきた

秋田公立美術大学の社会連携を担う学外法人として設立。秋田公立美術大学の多彩な研究や教育活動、幅広いネットワークを活かし、アートやデザインの力でさまざまなプロジェクトに取り組む。2021年から秋田市文化創造館の指定管理者を務める。



▶秋田県冬の大型観光キャンペーンとは

秋田県と東日本旅客鉄道株式会社秋田支社が共同で取り組む2024年12月1日から2025年2月28日までの冬の大型観光キャンペーン。

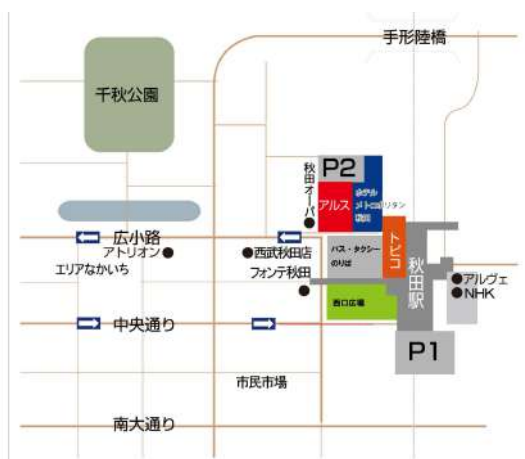
「温泉」、「食・酒」、「小正月行事」、「雪」をテーマに県内事業者と連携した500以上の特別企画を実施する。

<https://akita-hottokenai.jp/>



▶会場について

秋田駅直結の駅ビル商業施設「アルス」。
市民だけでなく観光客の往来も多くあります。



広報・お問合せ先

NPO 法人アーツセンターあきた (担当: 岩根)

[TEL] 018-888-8137 [E-mail] iwane@artscenter-akita.jp

[WEB] www.artscenter-akita.jp